

放課後等デイサービスガイドライン自己評価表

回答率

事業所職員： 5名回答、回答率 100%
保護者様： 21名回答、回答率 91%

職員の意見

○環境・体制整備

- ・机の配置を工夫して教室を広く使えるようにしている。
- ・法令に基づいた人員配置を行っているが、定員10名が全員揃う際、送迎の関係で教室がやや手薄になることがあるため、送迎の調整などが必要である。

○業務改善

- ・日々のミーティング時に、業務手順の見直しや振り返りができている。
- ・職員の資質向上のため、階層別研修に適宜参加している。今後は災害時対応の手順を具体的に確認する教室研修を実施していきたい。

○適切な支援の提供

- ・ニーズや課題を分析した上で、職員間で検討しながら個別支援計画を作成している。また毎日のミーティングの中で、目標と児童の現状に合わせた支援の提供方法を都度確認し、検討している。
- ・集団活動のプログラムは、職員間で話し合いながらバランスよく内容を組み立てている。

○関係機関や保護者との連携

- ・学校や相談支援事業所との間で、児童の宿題や登校の状況について情報共有に努めている。
- ・小学校入学前・入学後の移行前後での情報共有は、保護者を通じて行っている。
- ・児童発達支援センター等の専門機関を利用した助言や研修を受ける機会は少なく、今後の課題として挙げられる。

○保護者への説明責任等

- ・送迎時を利用して、日頃から子どもの状況や課題について保護者との情報共有を行っている。
- ・連絡帳やメールなどの連絡ツールも用いながら、保護者からの相談に応じている。

○非常時等の対応

- ・非常災害発生に備えて定期的に訓練を行い、職員へのマニュアル周知も行っている。一方で、保護者への災害時発生時の周知は徹底できておらず、年度ごとに説明・確認の機会を設ける必要がある。

保護者様のご意見

○環境・体制整備

・教室内の広さや設備の状況について、「事業所をみる機会があまりない」「部屋自体は見たことがあるが、児童が実際に活動をしているところをみたことがない」とのご意見をいただいた。

○適切な支援の提供

・個別支援計画作成、活動プログラムの工夫、保護者への情報共有・助言については、全てのご家庭から「はい」との回答をいただいた。

・障害のない子どもとの交流や保護者会開催の有無について、約半数のご家庭から「いいえ」との回答をいただいた。特に保護者会については、「コロナも5類になったので、やってもらいたい」とのご意見もいただいた為、検討が必要である。

○保護者への説明等

・支援内容の情報伝達や利用者負担に関する説明がなされているかについて、ほぼ全てのご家庭から「はい」との回答をいただいた。「子どもの状況をととてもよく理解し、その上での支援について詳しく聞いている」とのご意見もいただいた。

○非常時等の対応

・緊急時マニュアルの周知や避難訓練の実施については、約3割の家庭が「どちらともいえない」との回答をしており、周知の頻度や方法について工夫していく必要がある。

○満足度

・「子どもが通所を楽しみにしている」「支援に満足している」について、全てのご家庭から「はい」との回答をいただいた。一方で、定員がいっぱいで希望日に利用できないことへの改善を求めるご意見もいただいた為、イベントの日程を2日間で組むなどの工夫が必要である。

昨年度の振り返り

○今年度の取り組む具体策

・教室近隣の公園や公共施設を活用した課外活動を通して、地域交流の場を設けていく。
・感染症対策としてオンラインや少人数制などの工夫を取り入れた上で、保護者会を実施していく。

○改善できた点・まだ残る課題

・近隣の公園や神社での課外活動にて、地域の方と挨拶を交わす機会を設けることができた。
また、三郷市放課後等デイサービス障害児支援ネットワークの交流会に参加し、三郷市内の放課後等デイサービスに通う児童やその職員と交流することができた。
・保護者会の実施には至らず、次年度の開催時期を検討中である。

アンケート結果からみる教室の強み・改善点

○教室の強み

- ・日々のミーティングの中で個別支援計画の目標確認や支援内容の検討を丁寧に行い、児童の現状に合わせた支援提供に努めることができている。
- ・送迎時だけでなく、連絡帳やメールなどのツールも用いて、保護者と密に情報共有を行うことができている。また保護者の相談にも都度応じている。
- ・集団活動のプログラムは職員間で検討しながら工夫して組み立てており、児童が楽しんで通所することへと繋がっている。

○改善点

- ・児童が活動している実際の様子や、緊急時のマニュアルについて保護者が触れる機会が少なく、ブログを用いるなどの周知方法の工夫が必要である。また、感染症対策を行った上で、保護者会や児童の療育参観の実施も検討していく。
- ・非常時対応の教室内研修や、専門機関を利用した研修等を実施する機会を設け、職員の資質向上を目指していく。

中長期的な改善計画・1年間で取り組む具体策

○中長期的な改善計画

- ・ブログを用いて、日々の活動や避難訓練の実施状況などを発信していく。
- ・毎日のミーティングに加えて、非常時対応や支援方法についての教室内研修を実施し、職員が共通認識を持って支援にあたるようにしていく。また、外部の専門機関の研修案内を教室内に掲示し、職員の参加を促していく。

○1年間で取り組む具体策

- ・感染症対策を行ったうえで、保護者会や療育参観を企画・実施する。
- ・年度に一度、緊急時のマニュアルについてのお知らせを配信し、非常時の対応について保護者と共通認識をもてるように努める。また、緊急連絡先の確認にも繋げていく。